

家庭系収集ごみ有料化に向けた地域意見交換会 (佐布里コミュニティ) 意見の概要

日 時 平成27年8月30日(日) 14時15分から15時15分まで

場 所 佐布里ダム記念館

出席者 地域の方：11名

事務局：5名(ごみ対策課長、同副課長、ごみ対策課担当者2名、
リサイクルプラザ担当者1名)

家庭系収集ごみ有料化検討会議副会長

資料に基づき事務局説明

- (1) 「知多市家庭系収集ごみ有料化基本計画」について
- (2) 意見交換事項
 - ア 手数料の設定について
 - イ 効果的な施策について

<質疑、意見>

《意見交換会のあり方について》

【意見等】 有料化を進めるためには、いかに女性の理解を得られるかだと思います。

【事務局】 南粕谷の意見交換会は30人ほどの参加者のうち女性は6人でしたが、コミュニティの申し出により、ごみと資源についての勉強会として9月19日に出前講座を実施することになりました。そうした場で、女性の意見も伺っていきたいと思います。このように、コミュニティ等から要請をいただければ、勉強会等も開催していきますので、よろしくお願いいたします。

【意見等】 資料の解析が甘いのではないのでしょうか。ごみが増えた要因が記載されていませんし、その要因の対応策もないと思います。例えば、各商店で発生した包装パックなどはそのお店に返すなどを対応すれば、かなりごみの量は減ると思います。そのような対策をとったのにも関わらず、ごみ量が増えてしまった場合に、市民に有料化の相談をするべきなのではないのでしょうか。

【検討会議副会長】 ごみ処理について、お金の流れ、ごみの出し方の現状などは自分たちが勉強し、生ごみ等も水分を切って、水分量を減らせば、ごみの減量化に繋がるといったことを自分たちが勉強しなければならないと思います。

また、税金も自分たちが使った分を支払うのか、収めている税金の中から払うのかは結局、同じ財布の中から払っているのです。東海市と共同のごみ処理施設を作るときの負担割合はごみの量で決まるのであれば、ごみの量を減らして、負担を減らすようにしたほうが良いと思います。

《ごみと資源の分別について》

【意見等】 東海市在住の孫が小学校から持ち帰ったごみの分別が大変だと聞いています。知多市は分別が少なく、市民は恵まれていると思います。

【事務局】 他市から転入した方から、知多市は分別が簡単でごみを出しやすいと聞きます。しかし、ごみの減量化には繋がってはいませんので、今後は分別も細かくし、いろいろと啓発していきたいと考えています。

【意見等】 名古屋でお弁当を食べたとき、外側の透明なプラスチックは別にして、袋も別にしてなど、非常に分別が面倒でした。知多市もそのように分別が厳しくなると考えると正直言って嫌だと思います。

【事務局】 容器包装プラスチックの回収は、分別を面倒にしている要因だとは思いますが。名古屋市の「ごみ出しアプリ」の報道時に、出演者の大学の先生は「ごみは出た所で焼却することが一番経済的」と言われていましたが、資源を集めてリサイクルしていくことが国の方針です。

知多市の焼却炉ではプラスチックの焼却が施設の問題とならないため、わざわざプラスチックを洗うことなく、可燃物として処分しています。

【意見等】 東海市と施設を一緒にするという事は、分別方法も東海市に合わせていく形になるのでしょうか。

【事務局】 知多市で、その他のプラスチックの資源回収を行っていない理由は、ガス化熔融方式の焼却施設であるため、プラスチックを焼却しても施設に害がなく、焼却した熱を回収し発電もしているからです。

一般的な焼却だけをする施設では、プラスチックは溶けて、施設にくっつ

いてしまい嫌がられますので、新しい施設がそのような施設の場合は知多市でもプラスチックを分別していただく可能性もあります。

《生ごみ、剪定ごみについて》

【意見等】 生ごみと剪定ごみは、どれぐらいの割合でごみに出されるのでしょうか。

【事務局】 個人差や地区差で排出割合は違うと思います。生垣保全の協定等がある地区は、他の住宅地よりも剪定枝が多く出され、田畑が多い地域では刈草が多いなど地域差があります。

草木は個人の排出よりも、事業から排出される物が多いと思われれます。道路等の刈草は乾燥後に焼却したほうが良いのですが、火災等の危険性もあり現場で乾燥させることが難しく、直ぐに清掃センターに搬入されます。半田市には草木を堆肥化する施設があり、その利用も可能ですが、知多市の焼却施設で処分するよりもコストが掛かるため、知多市では焼却処分をしています。そのため、知多市では草木が多い状態になっていると思います。

【意見等】 1人1日当たりのごみ排出量に、草木は入っているのですか。

【事務局】 家庭系ごみ1人1日当たりのごみ排出量には、家庭系ごみとして出された草木は入っています。

なお、清掃センターにごみが入る際に、家庭系ごみと事業系ごみを分けて重量を計測しており、全体費用を搬入ごみ量で按分して家庭系ごみの処理費用を算出しています。

《焼却施設のコストについて》

【意見等】 企業は夜間電力などを利用し、企業努力で電力等のコストを下げていると聞いていますが、焼却施設の焼却コストはどのようなのでしょうか。

【事務局】 知多市の焼却施設は前提として、一般廃棄物を焼却する施設ですので、一般の企業とは違います。焼却施設は24時間365日運転しています。

また、ガス化溶融という焼却方式で、燃料としてごみの持つ熱量と補助燃料として都市ガスを使っています。都市ガスは、重油に比べて若干割高ですが、環境に対しては重油よりも良いとされているため採用しています。

《資源の地域回収について》

【意見等】 参考になりそうな市町村は、どこなのでしょう。

【事務局】 隣接している常滑市が参考になると考えています。常滑市はごみとしての不燃物の扱いをやめて、資源回収品目として月に1回、金属や瓦礫を集めています。

【意見等】 知多市で常滑市のようにできない理由としては何が挙げられますか。

【事務局】 常滑市は資源回収もごみ収集場所で地域の方が立会い回収する方法で、頻度が多く、場所によっては立会いが無い所もあり、指定の収集物以外の物を出されたり、ごみも旧袋で出されたりといった問題があるそうです。その場合は地域の方が処分をして負担が掛かっていると聞きました。知多市では、ごみ収集場所の回収は市で責任を持って行い、資源の地域回収は地域の方にご協力いただく方法で、今後もやっていきたいと考えています。

【意見等】 資源の地域回収について、市の関わり方はどのようになっていますか。

【事務局】 回収は市で行っていますが、立会い等は地域の方にご協力いただいています。地域によっては、町内会等のつながりが薄くなってしまった影響で地域回収の立会い当番が特定の方に偏ったり、負担になっていると聞きましたので、立会いをシルバー人材センター等に委託する方法も考えています。ただ、その場合、地域回収の資源売却代金から、シルバー人材センターへの委託料を差し引く形にはなると思います。そうしなければ、地域で立会いをしていただいている地域との差が出ないからです。

また、地域回収について、現在は知多市全域が同じ方法で行っておりますのが、地域ごとで何かやりたいことがあれば、コミュニティ単位ではありませんが、対応はしていきたいと思っています。

【事務局】 例えば、ここの佐布里ダム記念館に資源回収の常設場所が欲しい等の意見があれば、常設場所を開設し、市が回収する等は可能であると思います。地域回収の資源売却代は駐在員区単位でお支払いしていますが、コミュニティ単位の常設場所については、コミュニティにお支払いすることも可能です。

【意見等】 資源回収量のグラフで、地域回収のステーション増にも関わらず、資源回収量が減少しているのはなぜですか。

【事務局】 民間で資源回収をしているところに、資源が流れていることが主な原因だと考えています。新聞などは近年データ化が進み、資源となる新聞紙自体が減少していることも挙げられます。

【事務局】 資源回収品目の拡大案について、飲料缶以外の缶等、色付トレイとその他の発泡スチロール、タオル等の衣類以外の布類の回収も考えています。乾電池に関しては拠点回収を実施したいと考えています。

また、大型家電のテレビ、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機、衣類乾燥機、エアコン以外の家電製品は、小型家電としてリサイクルが可能ですので、拠点回収などを検討していきたいと考えています。

【事務局】 雑紙について、アルミコーティング等があっても、それを剥がせば、資源回収に出すことができますし、資源売却代として地域に還元されます。紙類は、資源として出していただければ、ごみの量は減ると考えていますが、市からの説明が不十分との批判も受けています。勉強会など開催していきたいと考えていますので、コミュニティから要望があれば伺いたいと思います。

【意見等】 新聞の広告紙は、雑紙として分けなければいけないのですか。

【事務局】 区分は、「ダンボール」「新聞と広告」「その他の紙類」ですので、新聞と広告紙は一緒に出していただけます。

《手数料額について》

【意見等】 今まで、指定ごみ袋1枚当たり10円程度のものが、いきなり50円程度になることに対して、市民が納得するのでしょうか。

【事務局】 現在、有料化を実施している市町村では、ごみ袋1枚50円程度の手数料設定が多く、東京などではごみ袋1枚100円という自治体もあります。県内では、最近、有料化を実施した常滑市や幸田町ではごみ袋1枚50円程度の設定です。知多市も指定ごみ袋1枚当たり50円程度で考えています。

また、有料化を実施している常滑市に知多市が接しているということで、知多市の指定ごみ袋を常滑市民が購入し、知多市内にごみを排出している状況があると聞いており、そのようなことを防ぐためにも、常滑市と同程度の手数料設定で考えています。

【事務局】 指定ごみ袋1枚50円という設定は高いのではないかとのご意見は他でも伺っており、最終的には皆さんからの意見をもとに、市長とも相談の上、手数料額を定めていきたいと考えています。設定金額を低くして欲しいという意見とは逆に、設定金額はもっと高い方が良いとの意見もあります。その理由としては、現在、清掃センターは税金で全て運営しており、手数料額を高くすることにより、ごみの減量にも繋がるとともに、ごみ処理負担の公平性も保たれ、仮に手数料で2億円の負担を市民にさせていただく場合、2億円のうちの何割かが他の施策に繋がるのではないかとのご意見でした。

【意見等】 私は、ごみ袋1枚の金額が100円程度でも良いと思いますが、家庭から出るごみの中には、いろいろな物が混入していますので、再生可能な物を入れる袋を作り、それは安くし、他の物は高くすることはできないのですか。

また、袋の色を変える必要があると思います。私の会社ではごみの分別で袋が3種類程あり、ペットボトル等のプラスチック系は燃料となるので、分別をしています。袋の種類を増やせば、分別できると思うのですが。

【事務局】 現在、知多市では可燃物用、不燃物用ともに同じ袋を使っています。有料化に伴い、袋の色は変える必要があり、黄色のごみ袋が良いのではないかとのご意見が多くあります。免除対象として説明した紙おむつについては、透明袋で排出する形の市町村が多いので、紙おむつだけで出していただければ、そのような排出方法も考えています。

【事務局】 知多市は可燃物用、不燃物用の袋の区別をしていないのですが、他の市町村では不燃物は色を分けているところが多いです。資源用の袋も分けているところもあり、袋の金額も資源用は安く設定している場合もあります。知多市では資源用の袋は設けず、地域回収で袋に入れずに出していただいています。容器包装プラスチックを資源の袋で回収している自治体では、資源の袋自体は容器包装としてリサイクルできず、ごみとして処分されます。現在、知多市の地域回収は地域のご負担もあると思いますが、「裸出し」でコンテナに入れていただいていますので、余計なごみを出さないということと、地域回収で集めた資源の売却代金が地域に入るメリットがあります。ただ、資源物が混入していても、ごみとして収集していることが甘いのではないかと

の意見もありました。

また、今後、東海市と共同ごみ処理施設をつくっていく中で、最終的にはお互いの市が排出するごみ量で負担金が決定するケースが多いことから、他市町村並みに、ごみを減らしていかなければならないとは思っています。

【意見等】 名古屋港南5区廃棄物最終処分場は、もう使用していないのですか。そのために、ごみ処理費用が掛かり、手数料を増やしたいということですか。

【事務局】 名古屋港南5区廃棄物最終処分場は埋め立てが終了しました。主に産業廃棄物を埋め立てる処分場で、一般廃棄物は焼却残さに限り搬入可能でした。

現在、知多市は単独で東鴻之巣最終処分場を設けています。

《ごみ減量推進員について》

【事務局】 ごみ減量推進員については、今までの4箇所で行われた意見交換会の感触では、必要ないという意見が多かったと思われます。

【事務局】 昨年度の検討会議で視察した滋賀県守山市は、コミュニティにごみ減量推進員を任せており、コミュニティによって2、3人のところもあれば、10人以上のところもあり、行政から帽子と腕章だけを提供し、推進員の活動は自主的にやられているそうです。

【検討会議副会長】 焼却施設が新しくできた際に、税金を負担するのは子どもたちです。現在、少子化が進み、税金を負担する子供達が減ってきています。介護保険が今後、高くなるといわれているように、ごみに関しても今のまま排出量が変わらなければ、子供達の税金の負担は大きくなります。現時点で環境に配慮することや、税金のことを子供達に教えていかなければと思っています。そして、住み続けられる知多市にしていきたいというのが、去年の検討委員の皆さんが出された答えで、将来の子供たちや孫たちのために「今、何ができるか」ということを考えなければならぬと話しました。